

我が国における自殺者数は、平成10年から14年連続して3万人を超える厳しい状況にある。第1章においては、自殺の現状について、その推移や内訳等を述べてきたところであるが、それらの動向についての分析は未だ例が少なく、今後実態を踏まえた自殺対策を推進する上でも大きな課題となっている。しかしながら、平成22年春より、警察庁から自殺統計原票の集計データが内閣府に提供されることとなり、更に同年9月からは、集計されない原票のデータそのものが内閣府に提供されることとなった。内閣府では、個人情報の保護に配慮しつつ、これらのデータを活用

して、自殺の実態について速報性を持って情報提供するとともに、政府の自殺対策が効果的なものとなるよう分析を進めることとしている。

本特集では、警察庁の自殺統計等、各種のデータを用いて、自殺者数の動向等の要因について詳細な分析を行う。次節からは、まず、平成23年の自殺者数の動向に特徴的ないくつかの点について分析を行った後、自殺者数の動向全般を見る上で重要な論点について検討を行う。その上で、今後の課題について明らかにする。